

将来を見据えた まちづくりを進めます

新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日ごろからの町政へのご支援、ご協力に感謝申し上げます。

昨年は、平昌オリンピックで、冬季オリンピックでは史上最多となる13個のメダルを獲得するなど、日本人選手の活躍に感動を覚えた一方、北海道胆振東部地震や西日本を中心に被害を受けた豪雨災害など、日本列島が次々と災害に見舞われた年となりました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

岡垣町では、国の社会経済情勢の変化に対応するため、「第5次総合計画後期基本計画」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げ

た計画を推進することとし、特に、「安全安心のまちづくり」や「町民の生活基盤の整備」に重点的に取り組みました。

安全安心のまちづくりのための主な取り組みとして、緊急時の防災情報や地域情報を受信できる地域情報伝達無線システム「でんたつくん」の運用を開始しました。各家庭に設置した戸別受信機に、防災情報や地域の情報を速やかに伝達することで、防災体制の強化や地域コミュニティ活動が推進されるなど、安全安心のまちづくりが一歩進んだものと思います。

生活基盤の整備では、長年の懸案事項であった国道3号バイパスの4車線化が、国の事業として採択されました。これは、福岡県や



A Message for the New Year

近隣市町との連携した取り組みによるものです。また、西鉄バス津線の一部廃止に伴い、コミュニティバスの路線や運賃の変更、デマンドタクシーの導入など、生活には欠かせない公共交通の大幅な見直しを行いました。

本年は、国道3号バイパスの4車線化の早期完成に向けた取り組みや認定こども園の整備に対する支援に継続して取り組みます。

少子高齢化の進展に伴う社会保障費の増加が進む中、町の財政状況は更に厳しいものとなっております。そのため、「行政改革推進計画」を着実に実行し、町民の皆様への説明責任をしっかりと果たしながら、将来を見据えたまちづくりに取り組みます。

さまざまな課題が山積していますが、町民の皆様が目線に立ち、ご意見を頂きながら「住みたいと選ばれるまちづくり」、「住み続けたいと思えるまちづくり」、「みんなが輝けるまちづくり」をさ



町長 宮内 寛生

らに進めてまいりますので、今後ともご支援とご協力をよろしくお願いたします。

最後に、町民の皆様のご多幸とご健康を心から祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

